

ナシジョイントV字トレリス樹形の側枝確保技術

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－ナシ－整枝・剪定

2 担当者名

佐藤寛人、吉田小夏、岡田初彦

3 要旨

ナシ「甘太」、「王秋」のジョイントV字トレリス樹形では、安定した収量を確保するための側枝更新技術の開発が課題となっている。側枝基部に環状剥皮を処理する方法は、更新のための新梢を確保しやすく、果実品質にも影響しないことが確認された。

- (1) 側枝更新のための新梢確保技術として、側枝を切り戻す慣行区に対して、図1に示す環状剥皮区（発芽10日後に、側枝基部から3cm上部に幅5mmで処理）、くさび切込み区（せん定時に、基部から1cm上部の主枝先端側に幅5~10mmで枝径の半分まで切込み）を設けた。
- (2) 「王秋」の新梢発生率は、環状剥皮区、慣行区、くさび切込み区の順に高く、新梢発生数も同様であった（表1）。「甘太」についても同様の結果であった（データ省略）。
- (3) 果実品質は、「甘太」、「王秋」ともに処理による影響は見られなかった（データ省略）。

表1 「王秋」の新梢発生状況
(2023~2024年、果樹研究所内)

	新梢発生率 (%)	新梢発生数 (本)
環状剥皮区	83.3	1.5
くさび切込み区	66.7	1.1
慣行区	75.0	1.3

※新梢発生率は、10cm以上の新梢が発生した割合。



図1 処理の様子（上：環状剥皮区、下：くさび切込み区）

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 ①令和3~5年度 ②令和5~11年度
- (2) 研究課題名 ①スマート農業プロセスイノベーション推進事業〔農林水産分野の先端技術展開事業（JPJ009997）〕 ②輸出対応型果樹生産技術の開発・実証構築〔福島国際研究教育機構（F-REI）における農林水産研究の推進委託事業〕

本研究は、農林水産省（令和3年度~令和4年度）・福島国際研究教育機構（F-REI）（令和5年度）の農林水産分野の先端技術展開事業のうち、「社会実装促進業務委託事業（農業分野）」（JPFR23060110、JPFR24060110）、福島国際研究教育機構（F-REI）における農林水産研究の推進委託事業（JPFR24020102）により実施した。

5 主な参考文献・資料

- (1) 大沼欣生ら、日本ナシ‘あきづき’の環状剥皮による側枝更新法、東北農業研究、64号、p.107-108、2011。
- (2) 大谷義夫、ニホンナシの側枝基部へのくさび処理による側枝更新技術、栃木県農業試験場研究成果集第30号、p.39-40。